

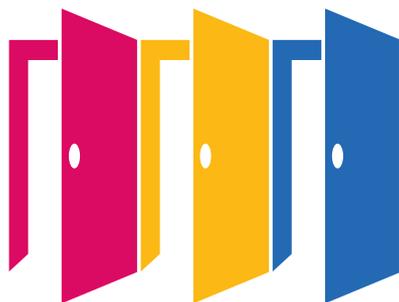
Rotary



八尾ロータリークラブ会報

2021
vol.60
No.21

5 / 12



Rotary Opens Opportunities



八尾RCバナーの主旨
「我々のクラブは、老いも若きも
相手を敬愛し、和気あいあい、
楽しいクラブライフを送っている
ことが誇りであります」

国際ロータリー テーマ

ロータリーは機会の扉を開く 国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク

国際ロータリー 第2660地区 テーマ

BACK, To the FUTURE ~基本に戻って、未来へ~ 国際ロータリー 第2660地区ガバナー 簡 仁一

八尾ロータリークラブ テーマ

ロータリアンらしく 八尾ロータリークラブらしく 会長 飯田 寛光

第2878回 例会 プログラム

- 開会 「点鐘」
- ロータリーソング「国歌」「奉仕の理想」
- ゲストの紹介
米山奨学生 ウアール, ミナ ミネア
アレクサンドラ様
- 出席報告
- 会員特別表彰
在籍45年 松本新太郎会員
- 会員年次表彰
在籍51年 佐野 清会員
在籍37年 居相英機会員
在籍11年 宮川 清会員
在籍 4年 藤田隆司会員
- お誕生日御祝い
山口智士会員・西村 衛会員・
小山悦治会員・川村健司会員・
小谷逸朗会員・平尾貴英会員
- 米山奨学金贈呈
- その他の報告

- 会務報告 「会長の時間」「幹事報告」
- SAA報告 ニコニコ箱
- 卓話
「●●●●●●●●」
●● ●● 会員
- 閉会 「点鐘」

■卓話予告

5/26 佐野 清 会員

会長の時間

このところ、大阪府では新型コロナの感染が急速に拡大しています。大阪府も政府に緊急事態宣言の発出を要請することを決定するようです。本日の例会もこのため、Zoomでの開催とさせていただきました。

なお本日は佐々木会員もご出席いただいています。せつかくですので皆さんも今一番気になる新型コロナの現状について、最新の情報なども交えてお話いただければと思います。

●佐々木 洋 会員

3月に緊急事態宣言が解除されてから、大阪府では感染者が増加しています。医療機関もすでにひっ迫し、崩壊が始まっているような状況です。重症者が増加し、今回の波では若年層の感染者や重症者が増加しているのも特徴です。このため、若い人たちにも接触を控えてもらわなければなりません。

病床に関しては重症者があふれ、中等症の病床に入ってきているような状況です。こうした状態が進行すれば、中等症の方の入院も断らざるを得ないようなことにもなりかねません。

八尾市内でも入院患者の受け入れ先がなくなってきており、新型コロナ以外の患者さんにもしわ寄せが来ています。

大阪では特に、変異株の割合が高まってきているようです。ワクチンを早く普及させることが重要でしょう。

幹事報告

▼8日に米山奨学生のオリエンテーションが開催されました。

▼RACの合同研修会が開催されました。

▼IM第4組の会長懇談会が開催されました。

▼27日にインターアクトクラブの合同会議が開催されます。

▼5月1日に春のRYLAセミナーがZoomで開催されます。

ロータリーの友 紹介

▼大橋 裕之 会員

世界の活動紹介では、モーリシャスの原油流出事故に対する事業などが紹介されています。連載コミック「ポール・ハリスとロータリー」もご一読ください。

当地区からも箕面や大阪天王寺など、各クラブの活動が紹介されています。縦書きトップでは、カーリング女子のオリンピック銅メダリスト、本橋麻里さんの講演が収録されています。

その他の報告

▼60周年実行委員会・長竹 浩 幹事

6月9日に、60周年記念式典を会員とご夫人のみで

開催します。

▼新宮 一誓・次年度幹事

本日の例会前に予定しておりました次年度の被選理事会は、中止しました。

今回は28日に、その次は5月26日に、被選理事会と次年度クラブ協議会を開催します。

卓 話

「人生に影響を与えた話と

ロータリー活動について」

▼中西 啓詞 会員

本日は私がまだ20歳の頃の、大変印象深い話をご紹介します。

私は毎月、生駒山宝山寺に参拝しておりますが、先代の松本実道管長には父が懇意にさせていただいておりました。22年前に亡くなりましたが、私も小さい頃から大変お世話になり、当時も現在も最も尊敬している方です。

今から63年前、それまでの家業である凍り豆腐の製造が斜陽化したためこれに見切りをつけ、昭和33年に父と義兄と18歳の私を中心に家族で牛乳会社の日興乳業(現在のメロディアン)を創業しました。

創業当時、父は松本管長から「事業を興すなら、5年は頑張りなさい」と言われました。その言葉に励まされ、牛乳ビン6本の配達からスタートし、現在のメロディアンに成長させていただきました。

その管長に私は、まだまだ青二才の20歳のとき、ついつい仕事の愚痴をこぼしたことがありました。そのとき管長は「中西さん、花はなぜ美しいと思いますか」と問われました。私が戸惑い、答えられずにいると「花が美しいのは、花が喜んでいからなんです。例えば桜の花、桜の木にも命があります。命があればこそ花が咲き、実が実る。花の木の命が暑い夏を過ぎ、寒い冬を過ごして大好きな春を迎える。うれしいなあと思う桜の木の喜びが、花になってあらわれるのです。だから花は、桜がうれしいなあと思っておる姿なのです」とおっしゃいました。

「その喜んでい桜のところへ、蝶や虫が集まってくる。花粉をつけて、実が実る。種ができて落ち、また新

しい芽が出る。だんだん花が増え、その木が繁栄してきます。

中西さん、人間も同じです。人間もうれしいなあと思うときが、一番きれいです。その姿を見れば、感じの良い人だと思います。特に商売人は、こんな商売ができることを喜んでいれば、それは必ず顔や態度に出ます。その店は感じが良い店だということで、人が集まってきます。

同じ品を同じ値段で買うのなら、この店で買おうと思います。それが人情で、これが商売繁盛につながっていくのです。

世の中には星の数ほどいろんな商売がありますが、どんな商売であれ、こんな商売、と不平不満を抱きながらでは、繁盛することはまずないでしょう。会社に勤めても、いやいや出社していても成功する人はまずいません。

それは喜びが足りないからです。喜んで会社に行くか、こんな会社、と違っていかで、いろいろが変わってきます。

人生も、この家族とともに生活し、この商売ができる、毎日がうれしいなあと思っているのといないのでは、大きく変わってきます。

まずは与えられたことを、今の仕事にご縁をいただいたことを喜びなさい。」と話をさせていただきました。

あれから60年。その後も講演会や研修会でいろいろな素晴らしいお話を聞いてまいりましたが、記憶に残っている話はあまりありません。松本管長のお話が、私の心の糧として、決して忘れられないものとなっています。

この話をうかがい、私自身の仕事に対する心構えや仕事をさせていただき喜びが足りなかったと当時、大変反省した次第です。

80歳になった今、楽しいことやうれしいこと、悲しいこと、つらいこと、腹の立つこと、悔しいことなどが数々あり、決して平穏無事、順風満帆ではなく、いろいろな紆余曲折がありました。会社はまずまず順調に発展させていただき、家族も世間並みに円満に過ごさせていただいております。

これを分析してみますと、喜ぶこと、うれしく思うことの割合が、少し多かったのではないかと考えております。

そして今日お話しさせていただいたことは、ロータリー活動にも通じると考えております。

まずはRCに入会させていただいたご縁を喜び、奉仕活動をする事による達成感と喜びを感じる事が大切です。私は平成元年に入会させていただき、33年目を迎えます。いろんな委員会でのいろんな奉仕活動に参加させていただきましたが、記憶に残っている思い出をいくつか、ご紹介します。

平成5年には、インターアクト委員長をさせていただきました。特にタイ・バンコクへ海外研修に行ったことが、忘れられません。現地のロータリアンの心からの歓迎と人情の厚さが心に残りました。生徒たちも親しくするのが早く、一種の感動を覚えました。わずか4日間の交流でしたが数々の思い出と成果を残しながら、最後には別れを惜しみ、肩を抱き合いながら涙を流す光景に、私も目頭が熱くなりました。若者たちの利害の無い純真な交流には教えられるものが数多くあり、この経験をいかして大きく成長してくれるものと期待しました。

平成8年には、世界社会奉仕委員長をさせていただきました。この年は友好クラブのフィリピン・サンタマリアRCと共同で白内障や甲状腺切開、口唇口蓋裂の手術への援助を行いました。4,000ドルを寄付し28名に手術を、18名に治療を実施しました。このときには現地を訪問し、過去に行った事業の井戸やダム、救急車などの使用状況も視察しました。

平成10年には木村義一会長のもとで、幹事をさせていただきました。就任前の地区協議会では故熊澤パストガバナーから「幹事は会長のサポートに徹し、たとえ会長が黒いものを白と言っても、それに従うべし」と言われました。いまだに忘れられない言葉です。この年度は青少年の健全育成に注力し、犯罪や薬物乱用防止の啓発などで大きな成果を得ることができました。また大阪八尾フレンドRC(現在の大阪フレンドRC)の創設にも、力を注ぎました。

幹事になって、学んだことがあります。会員の皆さんはそれぞれ一国一城の主ばかりで、それぞれに誰にもない素晴らしいものをお持ちだということ、そして社会情勢が厳しい中でもしっかりと会社を運営されておられることを、一人ひとりとお付き合いさせていただき

実感しました。ここで学んだことを、今後の経営に活かしていきたいと思いました。

平成20年には、当クラブ50周年の会長に推挙されました。私にとりましては身に余る光栄で、責任の重大さに身が引き締まる思いをしたことを覚えています。この年度はロータリーの原点に返り「奉仕を通じて喜び、感動を共有しよう」をテーマに、皆様のご協力、ご支援をいただきながら各奉仕活動を実践していただき、大きな成果を上げることができました。国内外で50周年の記念事業を実施していただき、記念式典は東日本大震災で自粛させていただきましたが、竣工間もない商工会議所で記念例会を開催しました。

その後は商工会議所の会頭を仰せつかるなどでロータリー活動はあまりできませんでしたが、今年度は60周年の実行委員長を仰せつかりました。新型コロナウイルスの影響で世の中が一変してしまいましたが、先日は八尾市内の小学校28校の支援学級に図書や教材を贈呈しました。記念式典は6月9日に例会場で、ご家族とともにささやかですが実施したいと計画しております。心あたたまる、和やかな式典になりますよう、皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

「私を語る」

▼原田 達也 会員

私は生まれも育ちも八尾で、中川会員とは同級生、小林会員は1年先輩にあたります。中学校までは野球をやっており、八尾フレンドの第1期生です。

商社に2年間務めた後、原田繊維に戻りました。当社は明治40年の創業ですが、当時は八尾には繊維業が多かったようです。江戸時代に大和川が付け替えられたのをきっかけに、綿がたくさん植えられ安中

新田などで河内木綿が栽培されました。

このため私の祖父が、繊維業を始めました。撚糸業ということで、糸をより、販売する商売です。当初は漁網メーカーなどに売っていたようです。

やがて漁業向けの販売が少なくなり、絨毯やカーペットの素材を手掛けるようになりました。当社もカーペットの話をもちかけられ、始めました。やがて撚糸の機械もなくなり、ホットカーペットのカバーをたくさん生産いたしました。この頃が最盛期かもしれません。

その後は価格の安い中国製品に押され、ニトリさんにも押され、廃業したところもあります。当社では自動車向けのマットの原反や、ダストコントロールマットなどを製造しています。このところ飲食店向けなどでは苦勞していますが、厳しい中でもなんとか生き残って頑張っています。

ロータリーのことはまだまだ何もわかりませんが、これからもよろしくお願いいたします。

ニコニコ箱

▼飯田会長 また、緊急事態宣言が出そうです。外出控えて我慢しましょう。

▼吉本副会長 緊急事態宣言、皆様改めて行動の見直しを。

▼松井幹事 またまたえらい事になって来ました。えらいこっちゃ！

▼中西会員 本日の卓話をよろしく。



■ 出席報告

月日	会員数	出席	うち出席規定 適用免除者	出席率	マーク アップ	確定 出席率
3/17	64	44	12	81.48%	0	81.48%
4/7	64	39	11	73.58%		
4/21	64	37	8	74.00%		